

消えゆくツバメをまもろう — JR 中央線・各駅停車調査

ツバメの巣はどこに・2014年

中間報告

昨年から始めたこのツバメ調査の2年目の調査途中のようすをお伝えします。

1. 市ヶ谷駅およびその周辺

昨年、JR 山手線内で唯一営巣が見つかったのが市ヶ谷駅周辺。千代田区内で1か所、新宿区内で1か所です。千代田区四番町のマンションのひさしに作った場所は、改札口から300m範囲という調査対象地域から数10m外れていますが、6月上旬に調べたところ、今年も来巢し、巣立ったようです。

新宿区内の営巣地は市ヶ谷橋を渡ったすぐの外堀通り沿いの、地下駐車場入り口。5巣以上が蛍光灯の笠の上に造られ、3か所以上で子育てをしていました。今年も同じ状況で、6羽以上のツバメが出入りをしてにぎやかでした〔写真1〕。

千代田区内では、今年さらに2か所で新しい巣を発見しました。1つは同じ四番町で、厳密には範囲外ですが、建物の家主さんの話では、もう30年来営巣しているとのこと。調査時にはすでに巣立っていて、2回目の繁殖にはいるとのことでした。もう1か所は6月中旬に見つけたもので、六番町の日本テレビ通り沿いのガソリンスタンド。ここはちょうど300mの線上にあり、店員さんの話では毎年営巣し、今年も巣立ったとのことでした。付近を成鳥が飛び回っていましたので、2回目繁殖の可能性がありました。(川内博)



〔写真1〕 洞窟のような営巣地の駐車場入り口
(6月18日 撮影/川内博)



〔写真2〕 昨年と同じ巣で繁殖。5羽のヒナが見えた。(6月1日 撮影/川内博)

2. 杉並区内4駅およびその周辺

杉並区内の駅は高円寺・阿佐ヶ谷・荻窪・西荻窪の4駅。

そのうち西荻窪駅では、昨年・今年と駅舎の出入り口上に造った同じ巣で繁殖しています〔写真2〕。周辺では発見できていません。高円寺駅舎には巣はなく、駅から南西に約200m離れた24時間営業のスーパーマーケットの入口に1巣。1988年に設置された発泡コンクリート製の人工巣で、昨年・今年とも来巢し、繁殖しました。阿佐ヶ谷駅舎にも巣はなく、駅北側の駅前ビル1階の駐車場に営巣。昨年も営巣確認し、今年も5月21日には抱卵していましたが、5月26日には継続が確認できませんでした。(西村真一)

3. 日野市市内2駅およびその周辺

日野市内の駅は日野・豊田の2駅。両駅とも昨年は駅舎に巣はありませんが、日野駅周辺で12か所、豊田駅周辺で9か所を確認しました。今年は6月中旬時点で、それぞれ17か所(範囲外も含む)と12か所と昨年を上回っています。また、豊田駅では初めて駅舎で1か所を確認しました(6月26日抱卵中)。調査は「日野の自然を守る会」が協力していて、守る会では子どもたちにツバメに親しんでもらおうと『日野市のツバメマップ』作りをはじめました。(金子凱彦)

【JR 中央線・ツバメ調査報告先】

JR 中央線の東京駅～高尾駅までの32駅の駅舎および各改札口から300m圏での、ツバメおよびツバメ類の営巣を確認された場合は、手紙・メール・Faxなどで、当会「ツバメ係」へご連絡ください。お名前・電話番号もお忘れなく。締切8月末。